

令和 8 年度 福井大学医学部医学科 学士編入学者選抜学力試験
自然科学総合（生命科学）

出題意図：

- I. 大学教養レベルの統計学を理解し、的確に用いることができるかを問うた。

- II. 医師を志す者は、知識を持っているだけでなく、データを正しく読み取り、論理的に判断する能力が欠かせない。本問では、論文で初めて報告されてから約 20 年が経ち、今では様々な医療分野で活用されている iPS 細胞を題材とした。研究者たちがどのような工夫や考え方によって iPS 細胞の発見に至ったのかを振り返りながら、受験者がデータを正しく理解し、問いに対して適切に答えられるかを問うた。

- III. Nature 誌の最新研究論文を題材として、学士編入生に求められる高度な科学英文読解力と生命科学の基礎的理解を総合的に評価することを目的とした。文章内容の把握、語彙の文脈判断、研究目的・成果の理解に加え、研究論文に必須となる図表 (GWAS・Manhattan plot) の読解能力および科学的説明力を問うことで、将来医学研究を理解し、論文を読み書きするための基礎的素養を確認する意図がある。

論文出典：

- I. 出典なし

- II. 参考文献として、Takahashi K. and Yamanaka S. Induced of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors. *Cell*, 126, 663–676 (2006) を元にしており、特に Figure2 を改変して用いた。

- III. Heidt A. *Nature* 641, 20, 2025
Excerpted from Feng C. et al., Nature 642, 980–989 (2025), Fig. 2